報 告

東京都23区内の保育所における保健活動と 看護職の役割に関する実態調査

村上 慶子1) 西垣 佳織1) 上別府圭子2)

[論文要旨]

東京都23区の認可保育所400園に質問紙調査を行い、看護職配置園101園(81.5%)、未配置園23園(28.5%)、計124園から回答を得た。両者における保健活動実施状況を比較した結果、「年間保健計画」、「全園児の感染症既往歴・予防接種表」、「家庭への保健だより」は、配置園の方が高い作成割合であった(p < 0.001)。さらに配置園では、「予防接種」の相談を多く受け(p < 0.001)、「具体的な医療機関を紹介する」割合が高かった(p < 0.05)。配置園全園が看護職配置の長所を挙げ、また配置園の方が「園児の個別性に対応した専門的な看護援助」の役割を看護職に高い割合で期待していた(p < 0.01)。

Key words:保育所,看護職,保健活動

I. 緒 言

保育所は出産後の女性の職場復帰に不可欠であり、共働き家庭・核家族の増加等といった社会状況の中で、さらに重要性は増している。また、最も発達の著しい乳幼児期の心身の健康管理は、生涯に深い影響を与える程重要と考えられる¹⁾。こうした状況下で、専門的な知識をもつ看護職(看護師または保健師または助産師の資格を有す者)に期待される役割が増大している。

保育所の管理者から、「看護職がいてよかった・いればよかった」という意見は多い²⁾。また、保護者の保育所への最も多い要望は病気の時の対応であり、看護職配置園では保護者の満足度が高く、看護職は保育所全体の保健活動への関わりを期待されていた³⁾。看護職の配置されている保育所では、嘱託医との関わりのもち方や

家庭で実践できる簡単な予防医学的内容等も保護者に伝えることができ、保護者の保育所看護職に対する評価は高いことが報告された⁴⁾。東京都内6区と三鷹市の保育所看護職を対象とした業務内容調査では、看護職は、園児の疾病・事故への対応のみならず、保健記録、職員に対して園児の保健に関する指導など多岐にわたる業務を行っており、中でも入園時の保護者面接、年間保健計画作成は全員が行っていた⁵⁾。

保育所看護職の設置基準に関しては、昭和52年に厚生省児童家庭局から「対象乳児が9人以上の場合は保健婦または看護婦を置く」との通達が出され、多くの看護職は零歳児保育に保育士同様に定数内配置されているが、法的根拠はない状態である60。

東京都に関しても、「零歳児が9人以上の保育所は1名配置すること。6人以上9人未満で常勤配置が困難な場合は、非常勤で配置できる。

The Survey of the Health Care Activities and Nurses' Role in Nursery Schools in 23 Special Wards of Tokyo

〔2115〕 受付 09. 2.23 採用 09. 3. 9

Keiko Murakami, Kaori Nishigaki, Kiyoko Kamibeppu

- 1) 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻家族看護学分野(大学院生)
- 2) 東京大学大学院医学系研究科健康科学·看護学専攻家族看護学分野(研究職)

別刷請求先:村上慶子 東京大学大学院医学系研究科 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

Tel: 03-5841-3556 Fax: 03-3818-2950

ただし、4時間以上の延長保育を実施し5人以上である場合は1名配置することで」を要件とする零歳児保育特別対策事業への補助を平成17年度末に廃止したため、看護職配置基準は存在しない。平成18年度からは各区の方針に任されているが、区立保育所は従来の基準を継承している。

保育所看護職の数は、全国では保育所22,494 園に対し看護職が4,365人のみであった⁸⁾。一 方、東京都23区内の認可保育所では、「配置し ている」659園、「配置していない」301園、「不 明」113園であった⁹⁾。そのため、東京都23区 内認可保育所は、全国平均よりもかなり高い看 護職配置率といえる。

そこで本研究では、保健活動を含めた保育所業務全般を管理・観察する立場である管理者を対象とし、他の地域と比較して看護職配置が充実している東京都23区内の認可保育所における保健活動と看護職の役割に関する実態を把握することを目的とした。

Ⅱ. 方 法

1. 調査対象・方法

先行研究^{2, 3, 5, 6)}の調査項目を参考に,無記名自記式質問紙を作成した。保育所の保健活動経験者に予備調査を行い,その結果を検討して修正を加え,質問紙の質の向上に努めた。調査対象者の選定には,財団法人こども未来財団 HP「i-子育てネット」内の全国認可保育所名簿を使用した。0~6歳児の人口に比例して各区にサンプル数を割り当て,東京都23区内認可保育所全1,073園から400園を無作為に抽出した。対象園の管理者宛に,本研究の趣旨および概要を記載した説明書・質問紙・返信用封筒を郵送した。調査期間は平成18年11~12月であった。回収は,対象者が回答後に返信用封筒に入れて返送する方法で行った。返送をもって同意を得たものとし,その旨を説明書に記載した。

2. 調査内容

調査内容は、1.対象の概要、2.保健活動 実施状況(園児の健康管理,園児に対する感染 症対策,保護者からの保健に関する育児相談, 家庭に対する健康教育)、3.看護職への役割 期待(看護職がいてよかったこと,いなくて困ったこと,看護職に期待する役割),4.保健活動全般について感じていること,である。1は選択回答式である。2の保健活動実施の有無は2項目選択回答式であり,2の活動の具体的な内容と3は複数回答可の選択回答式で「その他」の項目のみ自由記載である。4は自由回答形式をとっている。

3. 分析方法

保健活動実施状況について、看護職配置の有無で比率の差の検定(フィッシャーの直接確率検定)を行った。自由記載で得られたデータは、類似した意味を持つものに分類した。統計解析には、SPSS 12.0J for Windows を用い、有意水準は両側 5 %とした。

4. 倫理的配慮

本研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を得て実施した。調査への参加・不参加は自由であり不参加でも不利益は決して被らないこと、得られた調査結果は厳重に管理されること、調査は匿名で実施されるため園・個人は特定されない旨を説明書に記載した。

Ⅲ. 結果

1. 対象の概要

1) 回答者の概要

124名から回答を得た(回収率31.0%)。職種は、園長89名、副園長4名、主任保育士8名、保育士1名、看護師14名、無回答8名であった。看護師以外の看護師資格取得者は、園長1名、主任保育士3名であった。

2) 対象園の概要 (表1)

看護職配置あり(以下,配置園)は101園(81.5%),看護職配置なし(以下,未配置園)は23園(18.5%)であった。また,配置園は零歳児保育実施園と一致していた。配置園のうち,「保育士要員外配置」が86園(85.1%),「看護職は保育業務を行わない」は9園(8.9%)であった。しかし,「看護職は保育業務も行う」と回答した89園(88.1%)のうち「クラス担任を受け持つ」のは13園(14.6%)であった。保育業務は補助が大半であり、多忙時のみや零歳

表1 対象園の概要

		件	(%)
看護職配置	N = 124		
あり		101	(81.5)
なし		23	(18.5)
看護職の就業形態	n = 101		
保育士要員内配置		13	(12.9)
保育士要員外配置		86	(85.1
無回答		2	(2.0
看護職の業務	n = 101		
保育業務実施		89	(88.1
保育業務未実施		9	(8.9
無回答		3	(3.0
看護職のクラス担任	n = 89		
する		13	(14.6)
しない		75	(84.3)
無回答		1	(1.1
保育開始年齢	N = 124		
0 歳		101	(81.5
1歳		22	(17.7)
2 歳		1	(0.8

児クラスのみという園もあった。未配置園に未配置理由を尋ねたところ、「区の方針(零歳児保育実施園のみ配置)」が17園(73.9%)、「健康管理・教育は保育士ができる」、「けが・病気への対応は医療機関と連携すればよい」が各4園(17.4%)であった。

2. 保健活動実施状況

1) 園児の健康管理 (表 2-1)

入園時の保護者面接は全園で実施しており、118園 (95.2%) は全員を対象に行っていた。項目は、「健康状態」を116園 (93.5%) が聴取していた。看護職配置の有無で比較すると、「疾病罹患」(配置園 vs. 未配置園=95園 (94.1%) vs.18園 (78.3%)、p<0.05)、「予防接種状況」(94園 (93.1%) vs.18園 (78.3%)、p<0.05)で、配置園の方が高い聴取割合であった。

年間保健計画は、(96園 (95.0%) vs.16園 (69.6%), p < 0.001) で、配置園の方が高い作成割合であった。

保健記録は、121園(97.6%)がつけていた。 記録項目は、「けが・病気の発生」(100園(99.0%) vs. 19園(82.6%)、p<0.05)、「病欠者」(94園(93.1%)vs. 14園(60.9%)、p<0.01)、「内 服薬・外用薬」(79園(78.2%)vs. 10園(43.5%)、 p<0.01)で、すべて配置園の方が高い実施割 合であった。

2) 園児に対する感染症対策 (表 2-1)

回答を得た123園すべてで実施していた。「注意事項の掲示」120園(96.8%),「全園児の既往歴・予防接種のチェックリストの作成」109園(87.9%)の順に多かった。「全園児の既往歴・予防接種のチェックリストの作成」(95園(94.1%)vs.14園(60.9%),p<0.001)で、配置園の方が高い実施割合であった。

3) 保護者からの保健に関する育児相談 (表 2-1)

具体的な相談内容は、「園児の体調」、「成長発達」、「予防接種」、「感染症の時の対応」、「保護者の育児不安」の順に多かった。「予防接種」(83園(82.2%)vs.8園(34.8%)、p<0.001)と「特別な病気」(59園(58.4%)vs.7園(30.4%)、p<0.05)について、配置園の方が相談を受ける割合が高かった。

保護者への医療機関紹介では,「医療機関受診の必要性を助言する」が115園(92.7%)であった。「具体的な医療機関を紹介する」(48園(47.5%) vs. 5 園(21.7%), p<0.05)で、配置園の方が高い実施割合であった。

4) 家庭に対する健康教育(表2-2)

家庭に対する健康教育は、(98園 (97.0%) vs.18園 (78.3%), p<0.01) で、配置園の方が高い実施割合であった。機会は、「保健だより」 (94園 (95.9%) vs.9園 (50.0%), p<0.001) と「保健相談」(43園 (43.9%) vs.3園 (16.7%), p<0.05)で、配置園の方が高い実施割合であった。

3. 看護職への役割期待 (表3)

1) 看護職がいてよかったこと

配置園に、看護職がいてよかった点に関して尋ねたところ、「よかったことはとくにない」という回答はなかった。「けが・病気などの応急処置」98名(97.0%)、「けが・病気などの医療機関受診の判断」91名(90.1%)等、いずれの項目も高い割合を示した。

2) 看護職がいなくて困ったこと

未配置園に、看護職がいなくて困った点に関して尋ねたところ、7割近くの園で困ったことがあると回答していた。具体的内容は、「けが・病気などの対応や医療機関受診の判断が困難で

表 2-1 保健活動実施状況(1)

表 2-1 保健活動実施状況(1)						
. '		合計 (N=124) 件 (%)		(n=101) (%)	配置なし (n=23) 件 (%)	p値
園児の健康管理〉						
入園時の保護者面接項目						
健康状態	あり	116 (93.5)	96	(95.0)	20 (87.0)	
	なし	1 (0.8)	0	(0.0)	1 (4.3)	
発育・発達	あり	113 (91.1)	93	(92.1)	20 (87.0)	
	なし	4 (3.2)	3	(3.0)	1 (4.3)	
疾病罹患	あり	113 (91.1)	95	(94.1)	18 (78.3)	*
	なし	4 (3.2)	1	(1.0)	3 (13.0)	*
予防接種状況	あり	112 (90.3)	94	(93.1)	18 (78.3)	*
	なし	5 (4.0)	2	(2.0)	3 (13.0)	*
登園時の健康観察	あり	120 (96.8)	98	(97.0)	22 (95.7)	
	なし	1 (0.8)	1	(1.0)	0 (0.0)	
年間の保健計画作成	あり	112 (90.3)	96	(95.0)	16 (69.6)	
	なし	9 (7.3)	2	(2.0)	7 (30.4)	***
保健記録項目				and the second	and the second second	
けが・病気の発生	あり	119 (96.0)	100	(99.0)	19 (82.6)	*
- ranges - see	なし	2 (1.6)		(0.0)	2 (8.7)	*
病欠者	あり	108 (87.1)		(93.1)	14 (60.9)	
100 mars 200 mars 100	なし	13 (10.5)		(5.9)	7 (30.4)	**
内服薬・外用薬	あり	89 (71.8)		(78.2)	10 (43.5)	
TO SECURE	なし	32 (25.8)		(20.8)	11 (47.8)	**
المامة الرساس والأراثين ودريا الكارات						
(園児に対する感染症対策)	A 1-	100 (02 0)	***	(00.0)	00 /07 0	
注意事項の掲示	あり	120 (96.8)		(99.0)	20 (87.0)	
	なし	3 (2.4)		(1.0)	2 (8.7)	
全園児の既往歴・予防接種のリスト作成		109 (87.9)		(94.1)	14 (60.9)	***
	なし	14 (11.3)		(5.9)	8 (34.8)	
対応マニュアル作成	あり	99 (79.8)		(82.2)	16 (69.6)	
	なし	24 (19.4)		(17.8)	6 (26.1)	
臨時たよりの発行	あり	83 (66.9)		(69.3)	13 (56.5)	
	なし	40 (32.3)		(30.7)	9 (39.1)	
全職員の既往歴・予防接種のリスト作成		20 (16.1)		(17.8)	2 (8.7)	
	なし	103 (83.1)	83	(82.2)	20 (87.0)	
保護者からの保健に関する育児相談〉 相談内容						
子どもの体調	あり	98 (79.0)	82	(81.2)	16 (69.6)	
* + S = NEW	なし	25 (20.2)		(18.8)	6 (26.1)	
成長発達	あり	91 (73.4)		(74.3)	16 (69.6)	
proving gentline of the photos	なし	32 (25.8)		(25.7)	6 (26.1)	
予防接種	あり	91 (73.4)		(82.2)	8 (34.8)	***
+ 63.40 mm	なし	32 (25.8)		(17.8)	14 (60.9)	
感染症の時の対応	あり	89 (71.8)		(75.2)	13 (56.5)	
Western St. A. 2554 Vo.	なし	34 (27.4)		(24.8)	9 (39.1)	
保護者の育児不安	あり	89 (71.8)		(71.3)	17 (73.9)	
NEWS TO A DIVINITY	なし	34 (27.4)		(28.7)	5 (21.7)	
日常生活習慣やしつけ	あり	77 (62.1)		(59.4)	17 (73.9)	
HIPTHER (C >1)	なし	46 (37.1)		(40.6)	5 (21.7)	
特別な病気	あり	66 (53.2)		(58.4)	7 (30.4)	246
12 0.4. 9 MAYA	なし	57 (46.0)		(41.6)	15 (65.2)	*
風邪等の対応	あり	63 (50.8)		(54.5)	8 (34.8)	
いかんかんないいい	なし	60 (48.4)	100.00	(45.5)	14 (60.9)	
医療機関紹介	るし	00 (40.4)	40	(U.Ur)	14 (00.3)	
	t h	115 (00.7)	0.4	(02.1)	21 (01 2)	
医療機関受診の必要性を助言	あり	115 (92.7)		(93.1)	21 (91.3)	
医療機関のリフトナロル	なし	8 (6.5)		(6.9)	1 (4.3)	
医療機関のリストを提供	あり	67 (54.0)		(58.4)	8 (34.8)	
	なし	56 (45.2)		(41.6)	14 (60.9)	
具体的な医療機関を紹介	あり なし	53 (42.7) 70 (56.5)		(47.5) (52.5)	5 (21.7) 17 (73.9)	*

¹⁾ フィッシャーの直接確率検定による

^{*:} p < 0.05 **: p < 0.01 ***: p < 0.001

表 2-2 保健活動実施状況(2)

		合計 件 (%)	配置あり 件(%)	配置なし件(%)	p 値 ¹⁾
家庭に対する健康教育〉					
実施の有無		N = 124	n = 101	n = 23	
	ありなし	116 (93.5) 8 (6.5)	98 (97.0) 3 (3.0)	18 (78.3) 5 (21.7)	**
実施機会		N = 116	n = 98	n = 18	
保健だより	あり なし	103 (88.8) 13 (11.2)	94 (95.9) 4 (4.1)	9 (50.0) 9 (50.0)	***
保護者会	あり なし	99 (85.3) 17 (14.7)	85 (86.7) 13 (13.3)	14 (77.8) 4 (22.2)	
園内の掲示物	あり なし	91 (78.4) 25 (21.6)	77 (78.6) 21 (21.4)	14 (77.8) 4 (22.2)	
保健相談	あり なし	46 (39.7) 70 (60.3)	43 (43.9) 55 (56.1)	3 (16.7) 15 (83.3)	*
家庭訪問	あり なし	2 (1.7) 114 (98.3)	2 (2.0) 96 (98.0)	0 (0.0) 18 (100.0)	

1) フィッシャーの直接確率検定による

*: p < 0.05 **: p < 0.01 ***: p < 0.001

ある」が15名(65.2%),「調子の悪い園児の看病が困難である」が10名(43.5%)などであった。「その他」では「他園看護職が当園も担当ですぐに対応してもらえるのであまり困らない」が2名あり、「困ったことはとくにない」6名と合計すると、34.8%の園で日常的な困難は感じていなかった。

3) 看護職に期待する役割

配置園には看護職にどのような役割を期待しているか、未配置園には配置すると仮定して何を期待するかを尋ねたところ、「けがや救急時の対応」、「園児や保護者に対する健康教育」(各98名、79.0%)が最多であった。「園児の個別性に対応した専門的な看護援助」(67園(66.3%)vs.9園(39.1%)、p<0.01)で、配置園の方が有意に高かった。

4. 保健活動全般について感じていること

保育所における保健活動で日頃感じていることについての自由記載では、68名(54.8%)から回答を得た。最多の意見は、「看護職の配置は必要」、「看護職の重要性を実感している」が各19名であり、そのうち「(区の方針は零歳児保育実施園のみの配置だが)全保育所に必要」という意見も7名あった。次いで、「子どもが病気でも保護者が迎えに来られない・休めない」

9名、「看護職の専門性の向上を望む」8名、「保育士だと保健面に不安があることもある」、「看護職が保健活動に専念できない」、「看護職と保育士の連携がうまくいかない」、「看護職は一人職種ゆえの難しさがある」、「保護者が園児のけがに敏感になっている」、「看護職がいると保護者へ有効な指導ができる」が各3名の順であった。

Ⅳ. 考 察

1. 保育所の保健活動における看護職の役割

聴取した保健活動の具体的な項目において、 看護職の役割が発揮されていた。入園時の保護 者面接で、配置園の方が保健・健康面のより専 門的項目まで聴取していた。重要な情報源、か つ保護者が健康問題で保育所に相談できる関係 を作るうえで大切な入園時面接において¹⁰⁾、よ り専門的項目まで聴取することは、個別性に応 じた保健活動を行う基礎となるであろう。感染 症への対応では、全園児のチェックリスト作成 といった直接保護者には提示されない詳細な業 務において、看護職の役割が発揮されていた。 育児相談は、保健・看護・環境衛生等の専門性 がしばしば必要であるが¹¹⁾、専門的知識が必要 な内容は配置園の方が多かった。保育所が実施 する相談事業の担当者は、看護職が非常に少な

表3 看護職への役割期待

		全体 (N=124) 人 (%)	配置あり(n=101) 人(%)	配置なし(n =23) 人 (%)	p 値 ¹⁾
看護職がいてよかったこと〉				1. 1917	
けが・病気などの応急処置	あり		98 (97.0)		
	なし		1 (1.0)		
けが・病気などの医療機関受診の判断	あり		91 (90.1)		
	なし		8 (7.9)		
保育士への保健に関する助言	あり		88 (87.1)		
A STATE OF THE STATE OF THE STATE OF	なし		11 (10.9)		
けが・病気など異常の早期発見	あり		85 (84.2)		
11 10 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	なし		14 (13.9)		
けが・病気などの保護者への連絡と説明			84 (83.2)		
*************************************	なし		15 (14.9)		E.,
薬の内容の説明・投薬	あり		80 (79.2)		
压成物目。不管目 小四彩四 海鱼	なし		19 (18.8)		
医療機関への質問・状況説明・連絡	あり		74 (73.3)		
b do _ do > 1, 14 h / 12 do 1	なし あり		25 (24.8)		
よかったことはとくにない	あり なし		0 (0.0) 99 (98.0)		
	なし		99 (98.0)		
看護職がいなくて困ったこと〉					
けが、病気などの対応や医療機関受診の	あり			15 (65.2)	
判断が困難である	なし			8 (34.8)	
調子の悪い園児の看病が困難である	あり			10 (43.5)	
	なし			13 (56.5)	
専門的知識がないので保護者に対する説	あり			7 (30.4)	
得力がない	なし			16 (69.6)	
判断に自信がない	あり			5 (21.7)	
	なし			18 (78.3)	
専門職がいたほうが目が行き届く	あり			9 (39.1)	
	なし			14 (60.9)	
保育に手一杯で調子の悪い児に付き添う				4 (17.4)	
ことができない	なし			19 (82.6)	
保育に手一杯で保健面の対応が遅れる				1 (4.3)	
(集団感染等)	なし			22 (95.7)	
困ったことはとくにない	あり			6 (26.1)	
	なし			17 (73.9)	
看護職に期待する役割〉					
けがや救急時の対応	あり	98 (79.0)	78 (77.2)	20 (87.0)	
	なし	21 (16.9)	18 (17.8)	3 (13.0)	
園児や保護者に対する健康教育	あり		79 (78.2)	19 (82.6)	
	なし	21 (16.9)	17 (16.8)	4 (17.4)	
異常の早期発見	あり	83 (66.9)	70 (69.3)	13 (56.5)	
	なし	36 (29.0)	26 (25.7)	10 (43.5)	
保護者への連絡と説明	あり	77 (62.1)	64 (63.4)	13 (56.5)	
	なし	42 (33.9)	32 (31.7)	10 (43.5)	
医療機関受診の判断	あり	76 (61.3)	64 (63.4)	12 (52.2)	
	なし	43 (34.7)	32 (31.7)	11 (47.8)	
園児の個別性に対応した専門的な看護援助	あり	76 (61.3)	67 (66.3)	9 (39.1)	**
	なし	43 (34.7)	29 (28.7)	14 (60.9)	25/ 95/
異常の早期治療の連携	あり	71 (57.3)	61 (60.4)	10 (43.5)	
	なし	48 (38.7)	35 (34.7)	13 (56.5)	
とくになし	あり	2 (1.6)	1 (1.0)	1 (4.3)	
	なし	117 (94.4)	95 (94.1)	22 (95.7)	

¹⁾ フィッシャーの直接確率検定による

**: p < 0.01

く,多くは回答に自信がなかったとの報告もある¹²⁾。看護職が配置されていると、保健・健康面のより専門的な相談もでき、保護者の安心感につながると考えられる。家庭に対する健康教

育では、看護職がいると実施機会が増え、教育 が行き届きやすいといえる。

2. 保育所から看護職への期待

看護職に関し、「配置は必要」、「重要性を実感」との意見が多く、重要性の認識と期待の高さが明らかになった。秋田市の公立保育所の保育士を対象とした調査でも、看護職導入に関し「必要」が90%と圧倒的に多かった。その調査では看護職に期待する役割としてけがや病児の看護と保健指導で80%を占めていたが「3)、本調査でも未配置園はけが・病気などの対応や医療機関受診の判断に最も困っていた。保育士はけがや病児の看護に不安を抱いているようであり、その点をとくに看護職に期待していると考えられる。

しかし一方で、未配置園に関しては、他地域 を対象とした先行研究では「看護職未配置で困 る」との意見が前面に押し出されていたもの の6.14) 本調査では3割以上が日常的な困難は 感じていなかった。未配置理由として「健康管 理・教育は保育士ができる」、「けが・病気への 対応は医療機関と連携すればよい」を回答する 等、現状で満足している園もみられた。日頃の 保育を通し保育士は園児の保健・健康面の知識 を持ち、不足分は医療機関との連携や他園の看 護職の担当で補えるため、看護職不在でも十分 な保健活動は可能との考えから出た回答と考え られる。他地域と比較して東京都23区は、医療 機関も多く外部サポートが充実しているのであ ろう。しかし、看護職に期待する役割として「園 児の個別性に対応した専門的な看護援助」の割 合が配置園の方が高かったことから、配置園で は、専門的知識を与えるのみならず園児の日常 生活を把握しているからこそ行える園の実態に 即した保健活動を行う看護職を目にして、重要 性・必要性を強く実感していると考えられる。 看護職が実際に配置されることで、初めて実感 することができる. 看護職の存在の重要性・必 要性が示唆された。

3. 本研究の限界

本調査では、配置園は全園が零歳児保育を実施しており、未配置園は全園が未実施であった。 各区の方針で区立保育所の看護職配置を零歳児 保育実施園のみとしている東京都23区においては、両者の影響を分けての調査は困難であった。 しかし、保健・健康面で相当の配慮が求められるのは零歳児も幼児も同じであることから、看護職配置の有無で2群を比較した結果が、零歳児保育実施の有無の差を反映していたとは考えにくい。

回収率が31.0%と低かったことから、母集団よりも比較的看護職の配置に関心のある者からの回答に偏っている可能性は否定できない。

V. 結 論

他の地域と比較して看護職配置が充実している東京都23区内の認可保育所を対象に、保健活動と看護職の役割の実態に関し質問紙調査を行った。その結果、看護職配置園では、全園が看護職配置の長所を挙げており、未配置園と比較すると、保健活動の実施率が高く、看護職に園児の個別性に対応した専門的な看護援助を期待していることが明らかになった。看護職配置園のほうが、保健活動がより充実しており、看護職がいる利点を実感している可能性が示唆された。

謝辞

調査にご協力いただきました保育所の管理者並び に職員の皆様方に厚く御礼申し上げます。

なお,本稿の要旨は,第54回日本小児保健学会(群馬)にて発表した。

文 献

- 1) 松本寿通. 小児保健と関連領域 保育園保健に おける現代的課題. 小児科臨床 2000;53: 1139-1144.
- 2) 野口純子. 看護職の子育て支援に関する研究 香川県における保育との連携に関する調査. 香川県立医療短期大学紀要 2002;3:157-165.
- 3) 齋藤幸子, 高野 陽, 門脇睦美. 保育所の保健 活動に関する保護者の意識調査 保護者意見の 分析. 日本子ども家庭総合研究所紀要 2003; 39:263-270.
- 4) 遠藤幸子. 保育所における保健・衛生面の対応 に関する調査研究. 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業) 平成14年度研究報告 書 2003:443-446.
- 5) 遠藤幸子. 保育所保健の実践的研究(1) 保育所

- における看護職の役割と活用. 厚生科学研究費 補助金(子ども家庭総合研究事業) 平成12年度 研究報告書 2001:636-638.
- 6) 荒木暁子,遠藤巴子,羽室俊子,他. 岩手県の保育園保健の実態と看護職の役割. 岩手県立大学看護学部紀要 2003;5:47-55.
- 7) 東京都福祉保健局少子社会対策部子育て支援課. http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/ko-sodate/index.html (2007/07/08 accessed.)
- 8) 厚生労働省大臣官房統計情報部編. 平成16年社会福祉施設等調査報告. 厚生統計協会 2004: 328.
- 9) 財団法人こども未来財団: i-子育てネット. http://www.i-kosodate.net/index.html (2007/07/08 accessed.)
- 10) 湯目礼子. 保育園における看護職の活動の実態 と役割意識 神奈川県下のアンケート調査から. 神奈川県立看護教育大学校看護教育研究集録 1998:23:448-455.
- 11) 中村喜美子. 保育所保健における保育士と看護職の役割について 文献的考察. 保育と保健 2003:9(2):25-28.
- 12) 高野 陽. 小児保健における保育所保健. 小児 保健研究 2004;63:52-54.
- 13) 奥山朝子, 山本捷子, 大高恵美. 保育所における看護職導入に関する意識調査. 小児保健研究 1998;57(2):175.
- 14) 岡本佐智子, 梅澤祥子. 埼玉県の保育所における保健職に関する実態調査. 日本健康教育学会誌 2000:7:11-18.

(Summary)

The purpose of this study is to grasp the present situation of the health care activities and the role of nurses at nursery schools in 23 special wards of Tokyo, where the percentage of nursery schools with a nurse is higher than that in other areas.

We sent questionnaires to 400 national approval nursery schools in 23 special wards of Tokyo and obtained 124 responses (the recovery rate was 31.0%), 101 of which had nurses (81.5%).

Regarding the health care activities, we compared the nursery schools with a nurse to those without a nurse. As a result, we revealed that the nursery schools with a nurse made out more 'health plan', 'history of infectious disease and vaccination of each child' and 'health letters to their parents' than those without a nurse (p<0.001). Furthermore, the results showed that the nursery schools with a nurse were more often asked about 'vaccination' (p<0.001), and 'introduced medical institutions to parents' than those without a nurse (p<0.05).

All of nursery schools with a nurse answered the advantage of having a nurse, and those with a nurse more expected nurses to do more detailed and practical health care activities, 'specialized nursing assistant depending on each child's need' than those without a nurse (p < 0.01).

(Key words)

nursery school, nurse, health care activity